

バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 11 月 27 日

作成者：(株) 廃棄物工学研究所

 	【施設名称】 倉敷市廃食用油リサイクルプラント
	【事業主体】 倉敷市
	【所在地】 クルクルセンター 岡山県倉敷市小川町 3697 番地 4 TEL：086-470-6681 FAX：086-470-6685
	【運転開始年】 平成 16 年 11 月
原材料	家庭から排出された廃食用油
生産物（種類）	バイオディーゼル燃料(BDF)
利用方法	パッカー車等のディーゼル公用車の燃料
導入目的・経緯	倉敷市のリサイクル研修・体験施設である「クルクルセンター」の設置を機に、ゴミ減量とリサイクルの促進や水質汚濁と地球温暖化の防止を啓発するため、この事業を行うこととなった。
設備仕様	製造能力：100L/バッチ 処理時間：7 時間/バッチ
稼働状況	廃食用油回収量：1,000L/月 BDF 精製量：1,000L/月
経済性関連データ	初期投資額：8,289 千円（県補助：46%、残り自己負担）
導入効果	ゴミ減量とリサイクルの啓発 水質汚濁防止 二酸化炭素排出量の削減（軽油使用量の削減）
運営上の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ BDF は軽油と性状が異なるので、自動車メーカーの保証が得られない。そのため、BDF の性状や品質の安定、さらには向上に向けて、原料と燃料の品質管理を行っている。 ・ 現在、倉敷市では BDF100% で使用しているが、出来れば車両への影響を軽減させるため、軽油とブレンドすることが望ましいと考えている。BDF の普及のためにも、軽油と混合した際の軽油引取税の免除が望まれる。
備考	NEDO：バイオマスエネルギー導入ガイドブック http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/junkan/sanpaizei/seikatuhsui.htm http://www3.kct.ne.jp/~krecycle/bdf.html